



子育て情報誌 めぐみ

2015-10-9発行
諸川めぐみ幼稚園
園長 小倉 奎信



* * * * *

「遊びの効能 報告1」

遊びは子どもにとって、大切なことの一つです。遊びは、争ったり、和解をしたり助けたり、いたわったりと、さまざまな経験を伴います。そして、友だちとの約束が大切なこととして意識されてきます。どうしても思える事件が発生しています。幼児期の生活環境が影響していることは確かです。

幼稚園では、充実した遊びの経験を大事なこととして取り組んでいます。また、遊びの中で、運動の基礎である「かけっこ」、走ることを重視しています。

「姿勢を正す 報告2」

ある保育誌に、嘆きの言が書いてありました。曰く、「現代の子どもは遊び方を知らない。集団で遊ぶことをしていない」。だから、社会生活のマナーが身につかない。ケンカのルールが分からず、極端に走る、転ぶことを知らないから大事故になる。」等々。めぐみ幼稚園の子どもには、こういうことはありません。よく遊び、よく走る。(たまには転びます。)そして、縄跳び、鉄棒に何度も挑戦しています。だからなのでしょう。大きな怪我もなく、風邪もめったに引きません。(風邪ひきがないわけではありません。成長に必要なカルシウム「食べられる小魚」も食べています。



★「おむすび」と「にぎりめし」★

おかげさまで、運動祭が終わりました。ご協力感谢您致します。ありがとうございました。お昼のお弁当が、「おむすび」だったご家庭も多かったと思います。ところで、「おむすび」と「おにぎり」は別物でしょうか?気になったので調べてみました。「おむすび」→御結びと書き、握り飯のことを、「にぎりめし」→握り固めた飯、おむすび、とありました。広辞苑では同じ意味でした。

大相撲には結びの一番というのがあります。こぶしを握り締めて、そのまま隣の友だちと手を結ぶことはできません。「できないよ～」となります。優しい心はどういうことか。平和をつくり出す(聖書の言)をしっかり握りしめつつ、他者と結び合う子どもの成長を願っています。

10月の祈り

かみさま、せんそうのために
なんみんになったひとが
たくさんいます
このひとたちにも たべものを
じゅうぶんに そなえてください



聖書講話のご案内

10月11日(日) 午前10時~11時30分 場所: 諸川教会

ぜひ、ご参加ください。どなたでも参加できます。

「しつけ」

しつけに困っているご家庭は少なくないと思います。以前は、父が厳しく、母は優しくが大事とされてきました。父が叱ったら、母は慰め役になるといいです。今、いわれていることは、父が怒る時は、母も怒っているという一致した姿勢だと指摘されています。そうでないと、子どもは混乱し、優しい親や時には祖父母になびき、怒られた意味、内容を知ろうとすることなく過ごしてしまうからです。一緒に怒り、「ごめんさい。」謝ったら一緒に赦し、一緒に喜び、たくさん遊ぶことです。子育ての指針である聖書にこうあります。

「わが子よ、父の諭しに聞き従え 母の教えをおろそかにするな
それらは頭に戴く優雅な冠 首にける飾となる」 旧約聖書 P990



「トイレ行き、成功!!バンザイ!!」

パンツが濡れると気持ちが悪いことを伝え、濡れたら親に伝えることから始めます。その時にはうんと褒め、こう言いましょう。「濡れないうちに伝えるともっといいよ!」そして根気よく続けると、「おしっこ出たい」になります。成功です。ちびっでも、「教えてくれてよかった!」と喜びましょう。